

贈答文化の起源

- ・ 農耕社会

五穀豊穰を祈って

神様に供物をささげた

- ・ 収穫したものを分け合ふことで

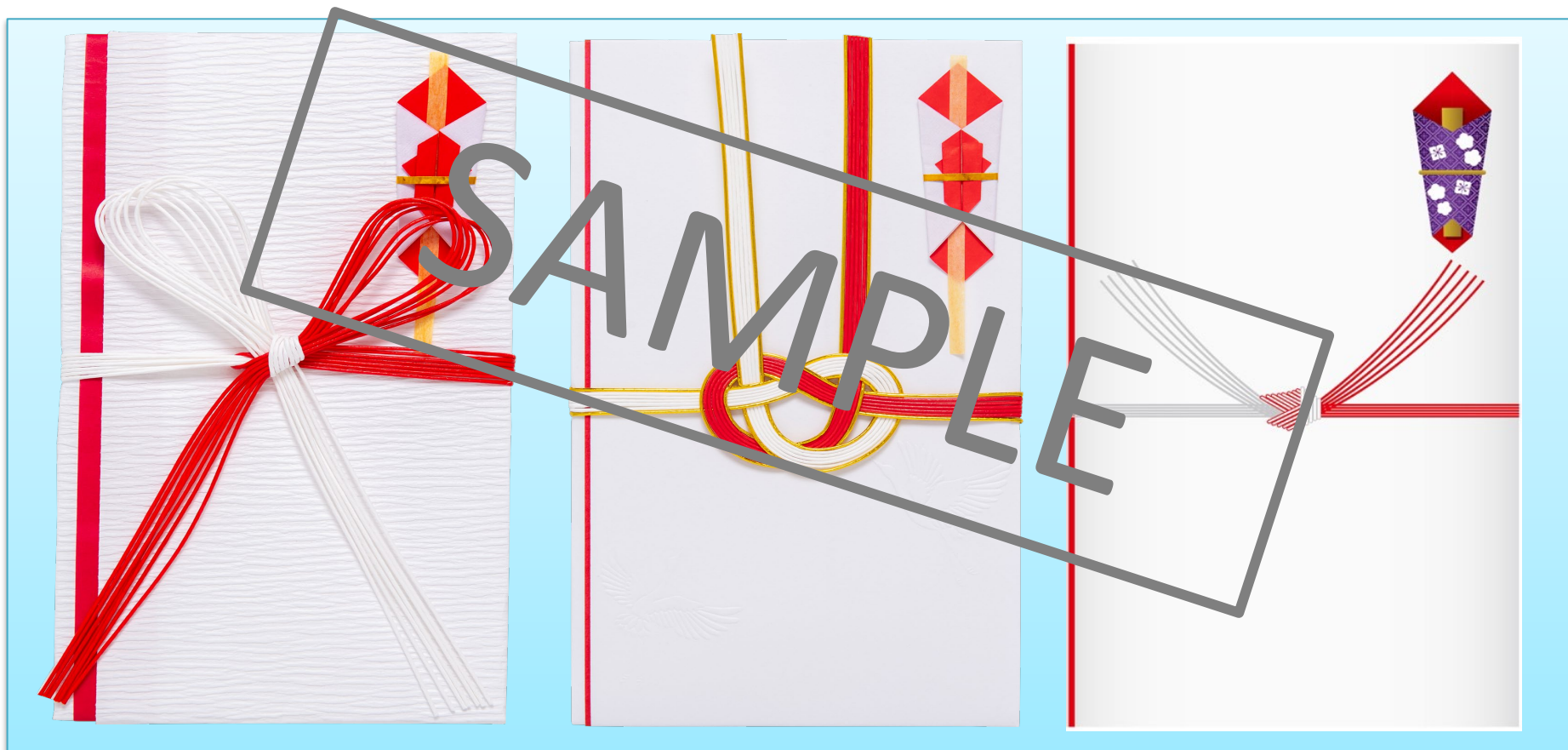
“贈る” “お返し”のやりとりが

確立された



金子包み

- ・ 祝儀袋の水引きの種類 = 慶事（お祝い事）

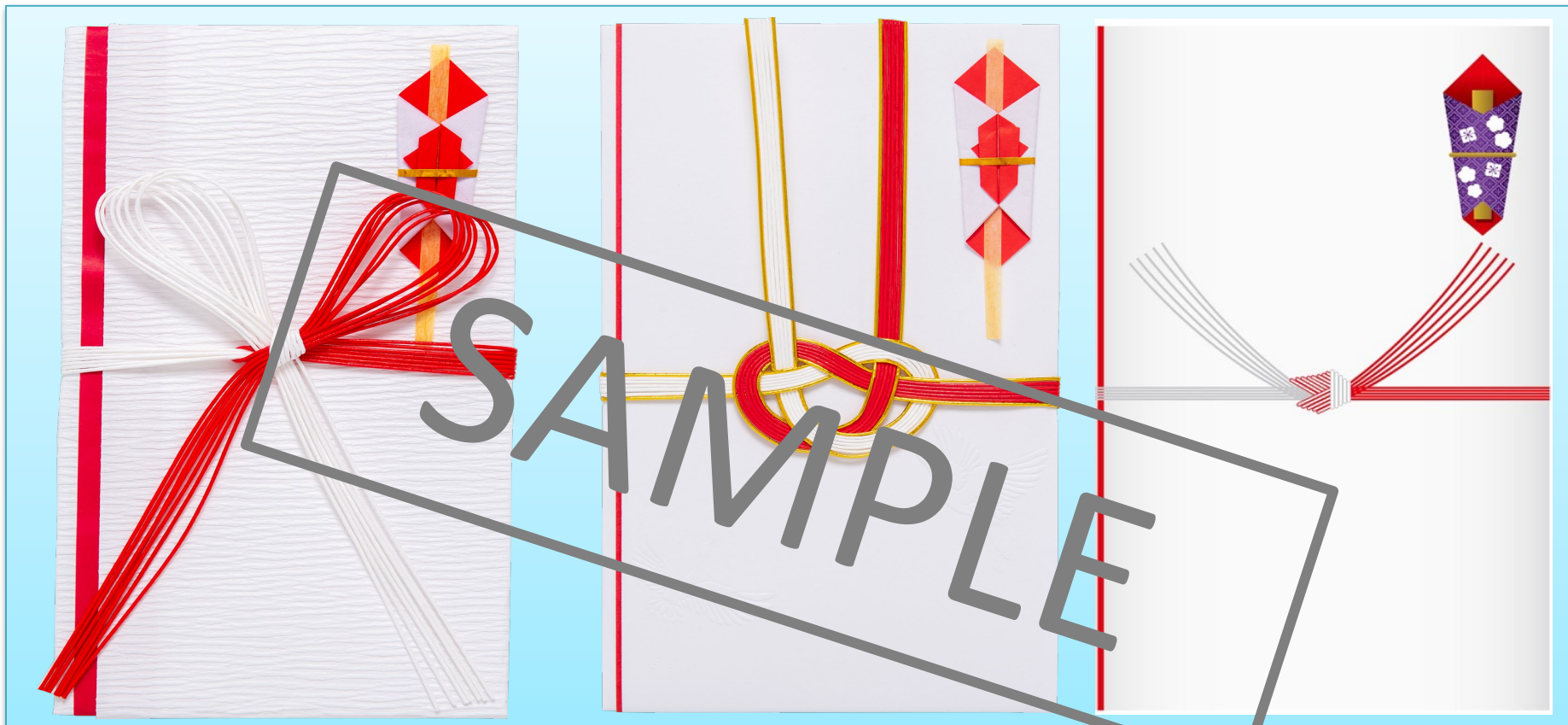


もろわな結び
ちょう結び

あわび結び
あわじ結び

真結び
結び切り

・ 祝儀袋の使い分け



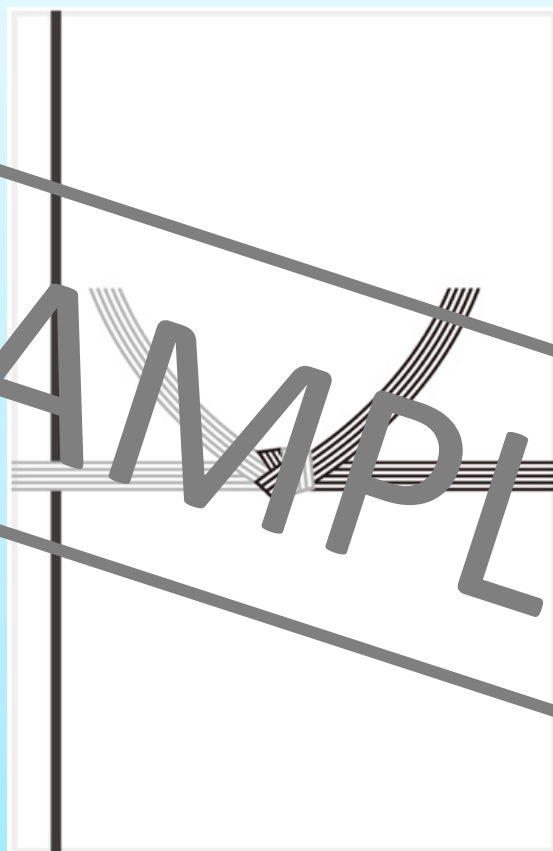
何度あっても
よいお祝い事

一度きりのお祝い事

入学、進級、新築
開業、誕生日

結 婚

- ・ 不祝儀袋の水引きの種類 = 弔事（お悔やみ事）



あわび結び
あわじ結び

真結び
結び切り

あわび結び
あわじ結び

・ 不祝儀袋の使い分け



お悔やみ事 … 一度きり

葬儀・法要・お供え

法要・お供え
※関西地方、
仏教以外

- 金子包みの折り方



祝儀の場合
(お祝い事)

不祝儀の場合
(お悔やみ事)

- お札の入れ方

お祝い事の場合

お札の肖像画は表側に

お悔やみ事の場合

お札の肖像画は裏側に

SAMPLE



・ 中袋の書き方

おもて

うら

金参萬円

SAMPLE

山形県小郡黄金町二番二四号
松原淳子

旧字体で書く

一	…	壹
二	…	貳
三	…	参
五	…	伍
十	…	拾
千	…	壹千
万	…	萬

・表書き

個人の場合

夫婦の場合



SAMPLE

- 会社として贈る

社名を入れる場合

部署からの場合



・連名で贈る

宛名を記さない場合

宛名を記す場合

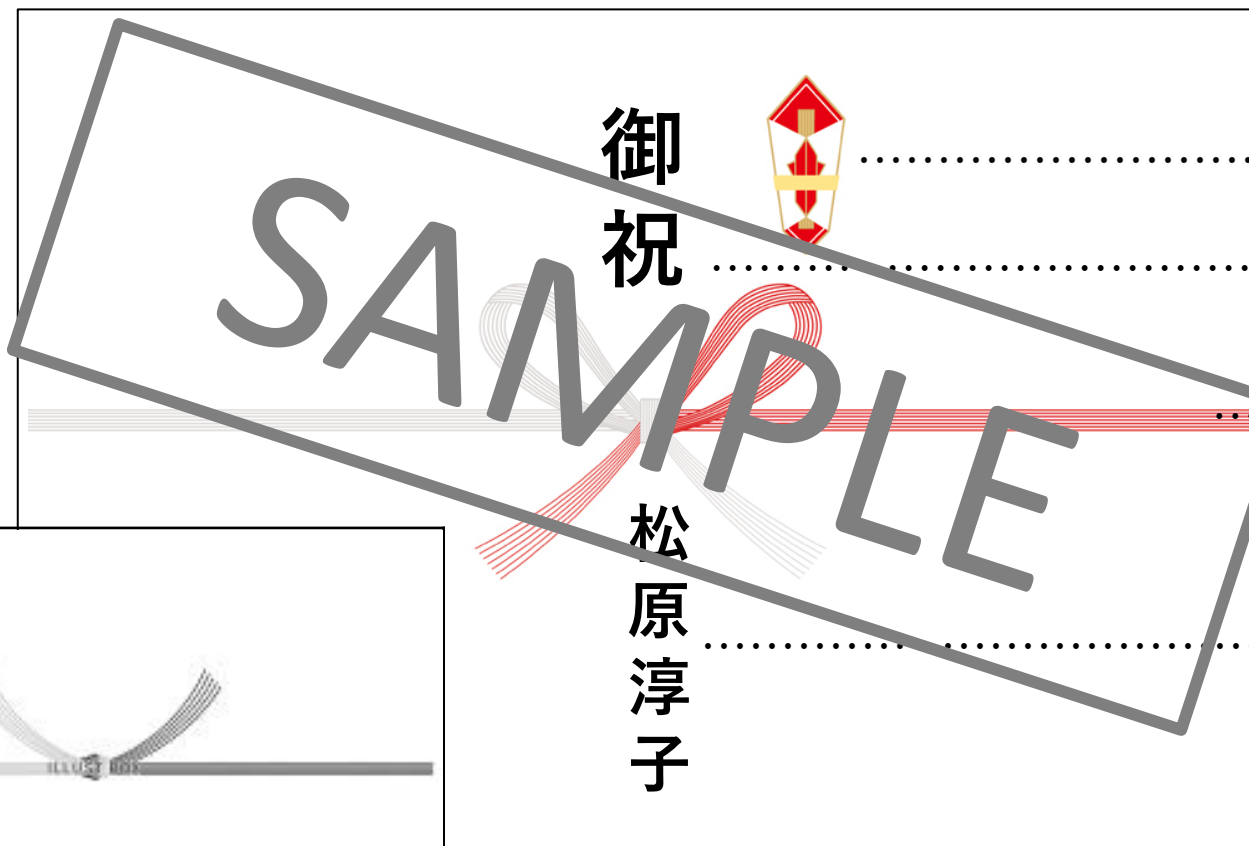


地位・年齢：低 ← 高 高 → 低

地位や年齢に差がない場合は、五十音順

熨斗 (のし) = 掛け紙

慶事

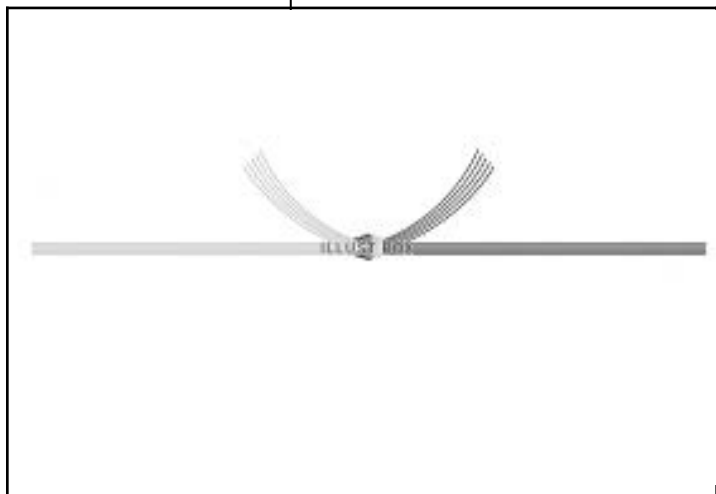


のし

表書き

水引

名書き



弔事

- ・ 外熨斗（そとのし）



- ・ 手渡しで贈るとき
- ・ 贈り物が集中するとき
- ・ 礼を尽くしたいとき
お祝い事全般
お供え等

※ただし地域の風習によって異なることがあります。

- ・内熨斗（うちのし）



- ・ 宅配便を利用するとき

- ・ 控えめに贈りたいとき

内祝い

決気祝い

香典返しなど

※ただし地域の風習によって異なることがあります。

・表書き

慶 事	御祝	新築・開店・栄転・就任など 一般のお祝い
	寿	結婚・出産・年祝いと、そのお返し
	内祝	家族の祝い事・御見舞いのお返し
	御祝儀	お祝い事での心付け
弔 事	御霊・御仏前・御香典	仏式の葬儀・告別式・法要
	御霊前・御神前・御玉串料	神式の葬儀・告別式
	御霊前・御花料	キリスト教式の葬儀
	志	香典返し
そ の 他	御布施	葬儀・法要での お寺や僧侶への御礼
	謝礼・御礼・寸志	一般の御礼 寸志は目下の人への謝礼
	御見舞・祈御全快	病気・けが・入院の見舞い
	御餞別	転勤・送別の時
	御奉納	祭礼などへの寄付

季節の贈答

・夏の贈答

お中元	7月中旬～7月15日まで
暑中お見舞い	7月16日～8月8日（立秋）頃まで
残暑お見舞い	8月8日（立秋）～8月中旬頃まで

・冬の贈答

お歳暮	12月初旬～12月25日頃まで
御年賀	元日～1月7日（松の内）まで
寒中お見舞い	1月8日～1月中旬頃まで

風呂敷・ふくさの色と使い分け

慶事



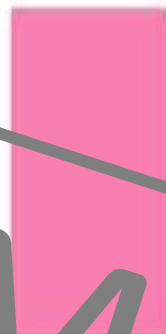
赤



朱



橙



桃



黄



黄土



金

弔事



黒



紺



深緑



灰



利休鼠



紫

慶弔両方

SAMPLE

・風呂敷包み



平包み

結び目がない

= すぐに関くことができるので便利

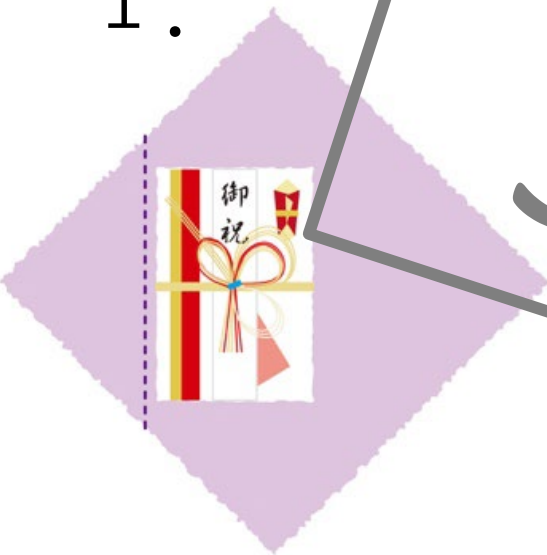
ほどかない

= 縁起がよい

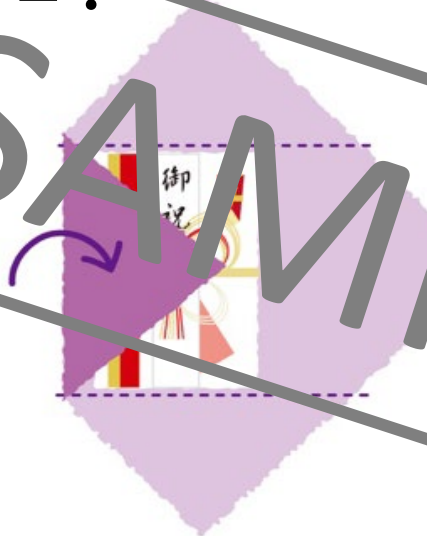
・ 袱紗の包み方

慶事

1.



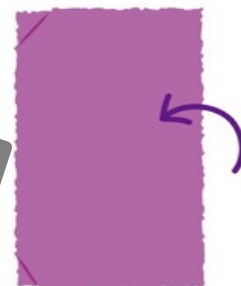
2.



3.

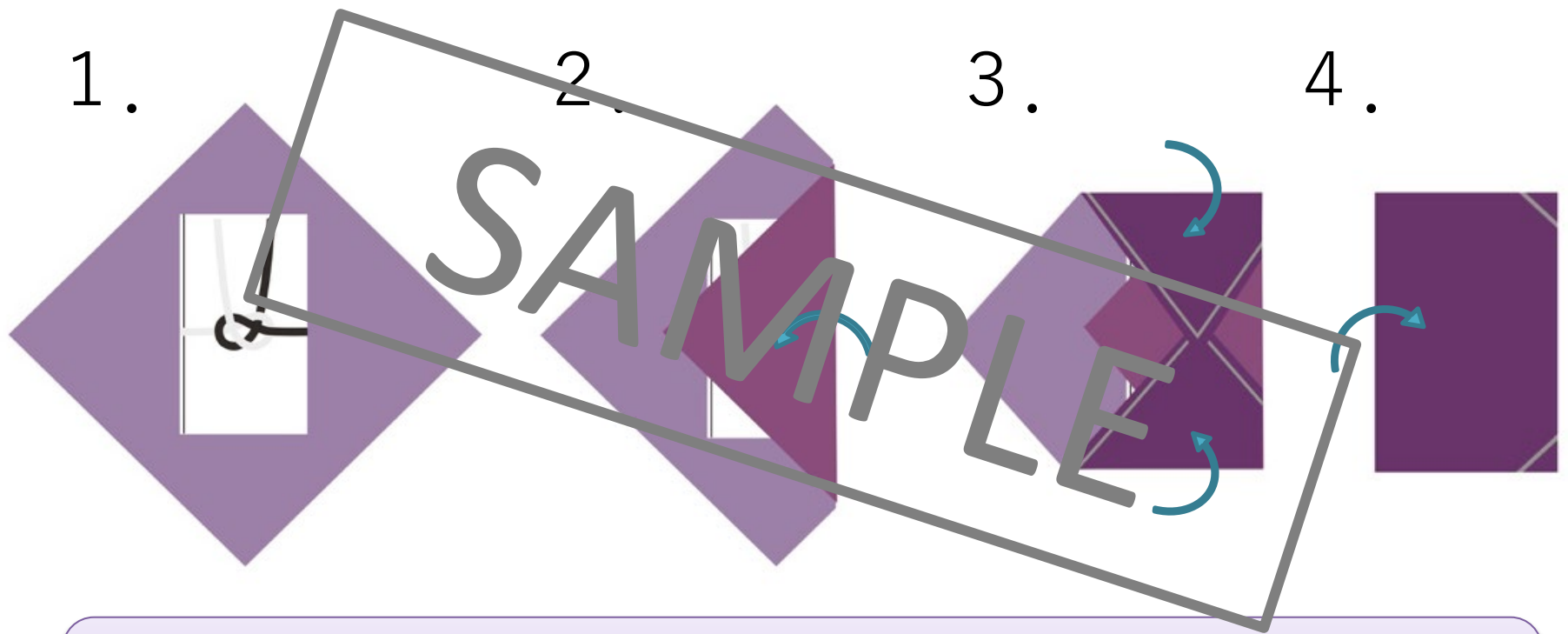


4.



左 → 上 → 下 → 右 の順で包む

弔事



右 → 下 → 上 → 左 の順で包む

今回のまとめ

- 金子包みの間違いは禁物！
慶事と弔事、水引の使い分けは
お間違いなく
- 礼を尽くして心を伝えましょう

